VGCO-3362H型　2連棟

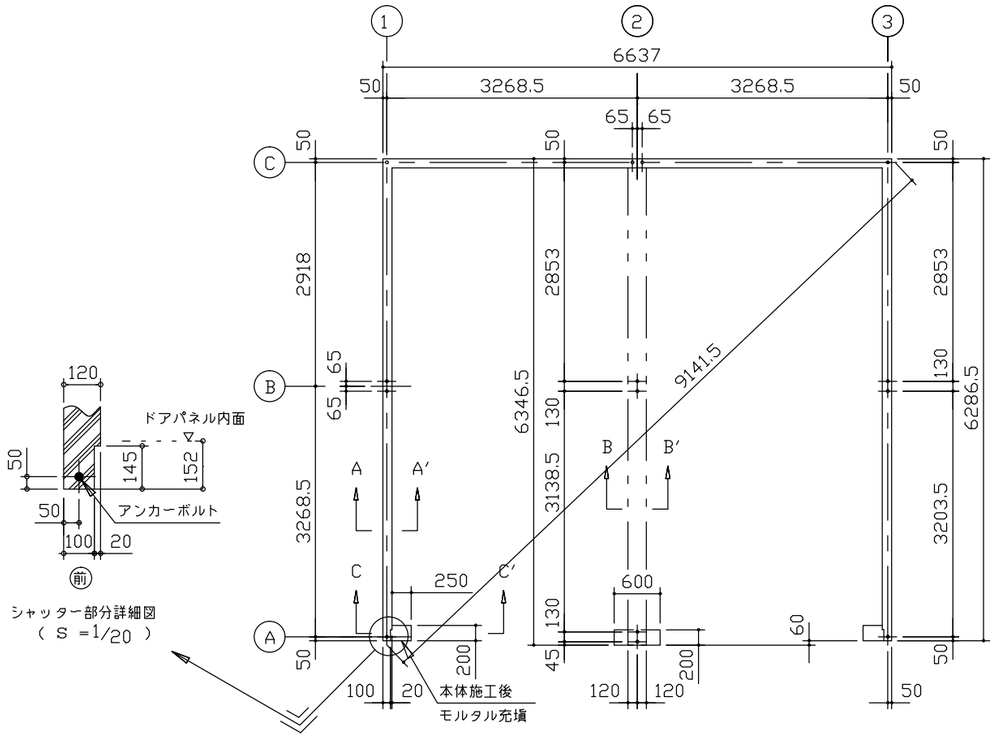
建築面積	40.44m²（12.25坪）	（間口柱芯寸法）×（奥行柱芯寸法）

構造耐力上主要な部分の部材

部材名	形状	板厚	使用材料	有効細長比
前柱	□-85×115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	70.0
後柱	ㄣ-115×115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	55.0
中柱（左右）	ㄇ-85×84	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	76.6
後柱（中）	ㄇ-85×84	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	74.5
前柱（中）	□-85×85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	81.1
中柱（中）	□-85×85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	78.3
桁前	ʃ-437.5×79	1.2mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁前補強	ʃ-304.5×45	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁中	ʃ-263×45	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁中補強	ʃ-263×45	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁後	ㄈ-155×85	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
梁	ɪ-310×114	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
壁パネル	ㄴ-25×701(350.5)	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
ブレース	———	7.0ø	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
ターンバックル	———	7.0ø用	JIS A5541建築用ターンバックル胴 STKM	
アンカープレート	———	6.0mm 9.0mm	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	

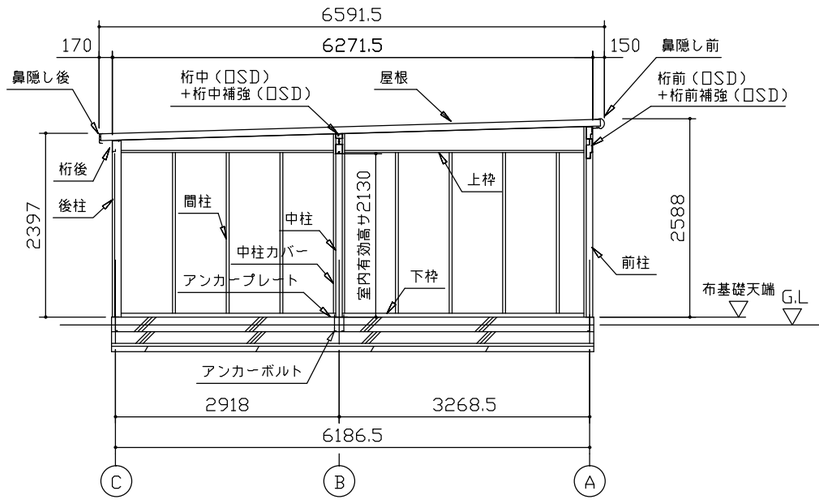
構造耐力上主要な部分以外の部材

部材名	形状	板厚	使用材料
上枠	ʃ-430×55	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
下枠	ㄈㄣ-81×64	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
中柱カバー	ㄴ-26×145	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
袖柱	ㄣ-230.5×78	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
間柱	□-31×24	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
屋根	～～ -88×600	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
オーバースライディングパネル	ʃ-60×504（420）	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLC400
鼻隠し前	C-130×113	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻隠し後	ɛ-122×48	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板（ツートンカラー）
ケラバ	ɾ-130×135.5	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板（ツートンカラー）

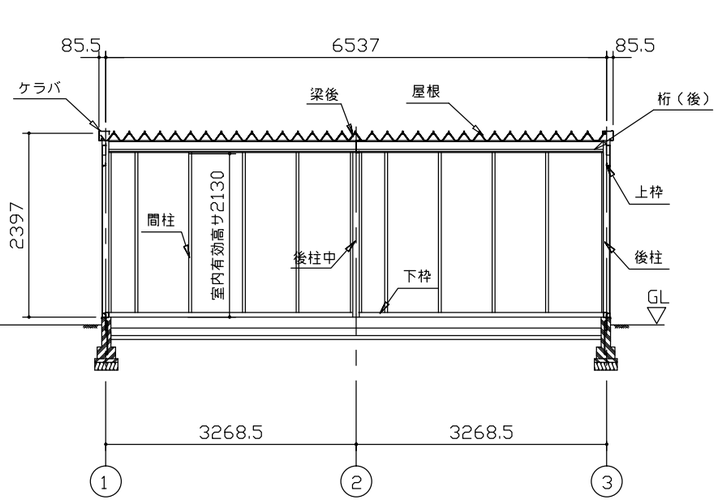


布基礎伏図（S= 1/80）

シャッター部分詳細図
（S =1/20）



側面断面図（S= 1/80）



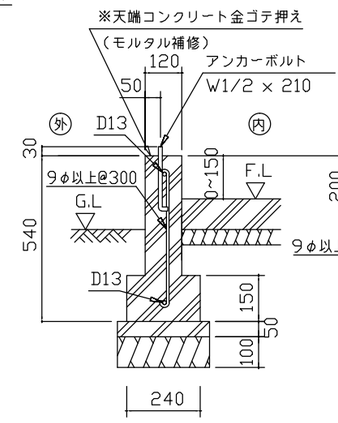
正面断面図（S= 1/80）

・基礎断面図　縮尺=1/20

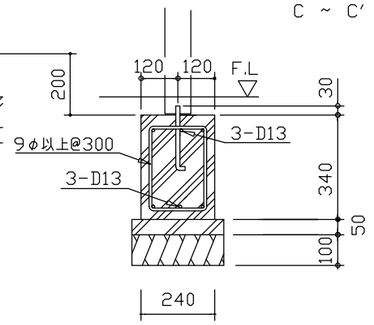
（地耐力　50KN/m²以上,コンクリート設計基準強度　18N/mm²以上
基準風速 34m/s，地表面粗度区分Ⅲ）

＜上記条件での参考図です。＞

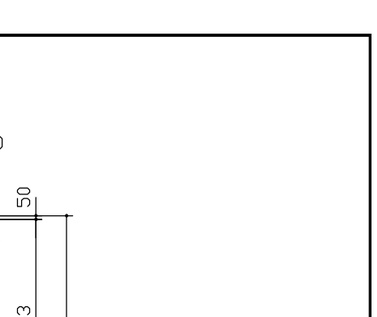
注1）地耐力が 50kN/m² 未満（30kN/m²以上）の場合、底盤幅を300mmとし、かつ補助筋を入れて下さい。
注2）寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。
注3）その他現地の実情にあわせて設計して下さい。



A ～ A′断面



B ～ B′断面



C ～ C′ 断面（前柱部）

アンカーボルトの止結は、ダブルナット等の戻り止めを施す事。

＊有効高サハ、基礎高サヲ含ミマセン。

名称	ヨドガレージ ラヴィージュⅢ
機種名	VGCO-3362H型（2連棟）

株式会社 淀川製鋼所